

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Honma A, Fujiwara Y, Takei S, Kino T. The improvement of daily fatigue in women following the intake of maca (*Lepidium meyenii*) extract containing benzyl glucosinolate. *Funct. Foods Health Dis.*, **12**(4), 175–187. (2022).
- 2) Fujiwara Y, Miwa M, Nagatsu A, Honma A. Identification of maple anthocyanin and its antiproliferative activity against LLC, T47D and C3H10T1/2 cells. *Anti-Cancer Agents Med. Chem.*, **21**(7), 894–901. (2021).
- 3) Masada S, Mizuno S, Kotani A, Fujiwara Y, Uchiyama N, Hakamatsuka T, Nagatsu A. Studies of physical quality evolution of “Foods with Functional Claims” containing piperine and monoglucosyl hesperidin as functional substances. *Jpn. J. Food Chem. Saf.*, **26**(3), 147–152. (2019).
- 4) Ichimaru Y, Fujiwara Y, Hayashi K, Design of favorable compound libraries for biologist. *J. Synth. Org. Chem. Jpn.*, **76**(10), 1102–1109. (2018).
- 5) Fujiwara Y, Kono M, Ito A, Ito M. Anthocyanins in perilla plants and dried leaves. *Phytochemistry*, **147**, 158–166. (2018).
- 6) Fujiwara Y, Ito M. Molecular cloning and characterization of a *Perilla frutescens* cytochrome P450 enzyme that catalyzes the later steps of perillaldehyde biosynthesis. *Phytochemistry*, **134**, 26–37. (2017).

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Ogawa F, Fujiwara Y, Yamaji S, Takano F, Nozawa N. “Study on genetic diversity of *Pellodendron* grown in Chichibu” The 10th AASP Conference 2022. Kuala Lumpur. (2022).
- 2) Fujiwara Y, Honma A. “Identification of section *Macrantha* of *Acer* based on matK DNA sequences” The 1st AASP Young Scientist Conference 2020. Jakarta. (2020).
- 3) Fujiwara Y, Miwa M, Honma A, Nagatsu A. “Antiproliferative and antioxidant effects of anthocyanin from *Acer palmatum* cv. ‘Chishio’” The 66th Annual Meeting of the Society for Medicinal Plant and Natural Product Research (GA) jointly with the 11th Shanghai International Conference on Traditional Chinese Medicine and Natural Medicines (S-TCM). Shanghai. (2018).
- 4) Fujiwara Y, Kono M, Ito A, Ito M. “Chemical species of anthocyanins in perilla plants and dried leaves” The American Society of Pharmacognosy Annual Meeting. Portland. (2017).

[国内学会]

- 1) 小川風香, 藤原裕未, 山路誠一, 高野文英, 野澤直美, 秩父産キハダの遺伝的多様性に関する研究,

日本薬学会第 142 回年会, 名古屋, 3 月, (2022).

- 2) 藤原裕未, 本間篤史, 遺伝子情報に基づいたカエデ属カエデ節植物の鑑別法の開発, 日本薬学会第 141 回年会, 広島, 3 月, (2021).
- 3) 水野沙稀, 藤原裕未, 内山奈穂子, 袴塚高志, 永津明人, 政田さやか, 機能性表示食品の品質評価に関する研究 (5): イチョウ葉エキスに由来する機能性表示食品の崩壊性と溶出性について, 第 8 回食品薬学シンポジウム, 静岡, 10 月, (2019).
- 4) 藤原裕未, 本間篤史, 永津明人, 遺伝子情報に基づいたカエデ属植物鑑別法の開発, 日本生薬学会第 66 回年会, 東京, 9 月, (2019).
- 5) 藤原裕未, 本間篤史, 永津明人, カエデ属植物の遺伝子鑑別法の開発, 日本生薬学会第 65 回年会, 広島, 9 月, (2018).
- 6) 森美保奈, 寺倉理央奈, 間瀬貴巳, 藤原裕未, 永津明人, 西崎雄三, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子, 定量 NMR (1H-qNMR) を応用したベニバナ赤色素 carthamin の定量, 新規素材探索研究会第 17 回セミナー, 横浜, 6 月, (2018).
- 7) 森美保奈, 寺倉理央奈, 間瀬貴巳, 藤原裕未, 永津明人, 西崎雄三, 増本直子, 杉本直樹, 佐藤恭子, 定量 NMR を応用したベニバナ色素 carthamin の吸光係数の検証, 日本薬学会東海支部総会・大会, 名古屋, 6 月, (2018).
- 8) 森美保奈, 寺倉理央奈, 間瀬貴巳, 藤原裕未, 永津明人, 西崎雄三, 杉本直樹, 佐藤恭子, 定量 NMR (1H-qNMR) を応用した生薬コウカ中の carthamin の定量, 日本薬学会第 138 回年会, 金沢, 3 月, (2018).
- 9) 藤原裕未, 三輪真子, 本間篤史, 永津明人, カエデ属植物に含まれるアントシアニンの構造とその機能性, 日本薬学会第 138 回年会, 金沢, 3 月, (2018).

[シンポジウム]

- 1) 藤原裕未, 生薬類のにおいの吸入投与による鎮静活性評価, 第 24 回日本アロマセラピー学会, 愛知, 10 月, (2021).

3. その他特筆すべき研究業績

[研究費獲得]

- 1) 藤原裕未 (代表), 日本薬科大学学術研究助成金, 遺伝子解析技術を用いた植物の鑑別(2), (500 千円) 2021.
- 2) 藤原裕未 (分担), 令和 2 年度科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B)), ウォーレンシア・パプア域の沈香一種の分布・成分・遺伝資源保全の共同研究, (18850 千円) 2020-2025.
- 3) 藤原裕未 (代表), 日本薬科大学学術研究助成金, 遺伝子解析技術を用いた植物の鑑別, (200 千円) 2020.
- 4) 藤原裕未 (代表), 第 34 回シキシマ財団研究助成, レッドリストあいちに分類されるカエデ属植物の遺伝子鑑別法の開発, (500 千円) 2019.
- 5) 藤原裕未 (代表), 第 39 回薬学研究奨励財団研究助成, DNA バーコーディングを利用した簡便なカエデ属植物鑑別法の開発, (700 千円) 2019.

6) 藤原裕未 (代表), 平成 29 年度豊秋奨学会海外渡航旅費助成, (2 千米ドル) 2018.

7) 藤原裕未 (代表), 平成 28 年度科学研究費助成事業 若手研究 (B), 多様性を持つシソ属植物精油成分の生合成経路および制御機構の解明, (3900 千円) 2016-2018.

[特許]

1) 藤原裕未, 永津明人, 本間篤史, 抗酸化剤及び抗腫瘍剤 (特開 2019-163231) (2019).

[受賞歴]

1) 優秀ポスター賞, The 1st AASP Young Scientist Conference 2020

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2021 年度

日本薬科大学, 薬剤師の使命 (薬学科 1 年前期, 10 コマ)

日本薬科大学, 薬用植物学 (薬学科 1 年後期, 7 コマ)

日本薬科大学, 生薬漢方実習 (薬学科 2 年前期, 8 コマ)

日本薬科大学, 薬学総合演習 I B (薬学科 4 年後期, 1 コマ)

日本薬科大学, 薬学原書講読 II (薬学科 4 年後期, 10 コマ)

日本薬科大学, 地域と大学 (薬学科 4 年後期, 2 コマ)

日本薬科大学, 実務事前学習 II (薬学科 4 年後期, 4 コマ)

日本薬科大学, 化学特論 (薬学科 6 年前期, 1 コマ)

日本薬科大学, 薬学総合演習 II (薬学科 6 年後期, 1 コマ)

日本薬科大学, 現代医療の中の漢方 II (医療ビジネス薬学科 2 年前期, 5 コマ)

日本薬科大学, 生薬学 (医療ビジネス薬学科スポーツ薬学コース 2 年後期, 7 コマ)

お茶の水はりきゅう専門学校, 漢方薬概論 (はり師きゅう師学科 2 年後期, 6 コマ)

2020 年度

日本薬科大学, 薬剤師の使命 (薬学科 1 年前期, 10 コマ)

日本薬科大学, 薬用植物学 (薬学科 1 年後期, 6 コマ)

日本薬科大学, 生薬漢方実習 (薬学科 2 年前期, 8 コマ)

日本薬科大学, 薬学総合演習 I B (薬学科 4 年後期, 1 コマ)

日本薬科大学, 薬学原書講読 II (薬学科 4 年後期, 10 コマ)

日本薬科大学, 実務事前学習 II (薬学科 4 年後期, 2 コマ)

日本薬科大学, 化学特論 (薬学科 6 年前期, 1 コマ)

日本薬科大学, 薬学総合演習 II (薬学科 6 年後期, 1 コマ)

日本薬科大学, 生薬学 (医療ビジネス薬学科スポーツ薬学コース 1 年後期, 6 コマ)

2019 年度

金城学院大学, 化学系実習 (1) (薬学科 2 年前期, 10 コマ)

金城学院大学, 化学系実習 (2) (薬学科 2 年後期, 10 コマ)

愛知淑徳大学, 生活の化学 (全学共通教養教育科目, 前期後期, 各 15 コマ)

2018年度

金城学院大学, 化学系実習(1)(薬学科2年前期, 10コマ)

金城学院大学, 化学系実習(2)(薬学科2年後期, 10コマ)

愛知淑徳大学, 生活の化学(全学共通教養教育科目, 前期後期, 各15コマ)

2017年度

金城学院大学, 化学系実習(1)(薬学科2年前期, 10コマ)

金城学院大学, 化学系実習(2)(薬学科2年後期, 10コマ)

愛知淑徳大学, 生活の化学(全学共通教養教育科目, 前期後期, 各15コマ)

2. その他特筆すべき教育業績

- 1) 高等学校出前講義, 千葉英和高等学校, 2022, 7月
- 2) 高等学校出前講義, 千葉県立市原八幡高等学校, 2022, 3月
- 3) 加須市栄養講座, 加須保健センター, 2022, 3月
- 4) 薬物乱用防止講演, 千葉県立長生高等学校, 2021, 11月
- 5) 文部科学省職業実践力育成プログラム, 日本薬科大学漢方アロマコース, 2021, 4月
- 6) 薬物乱用防止講演, 千葉県立沼南高等学校, 2021, 2月